



それぞれの作品づくりに真剣に取り組む子どもたち(昭和町立西条小学校)

山梨の子どものいいところ

(全国学力・学習状況調査 質問紙調査の結果から)

自分には、よいところがあると思える



人が困っているときは、進んで助けている



人の役に立つ人間になりたい



など

文部科学省が実施した全国調査の結果などから、山梨県は高い自己肯定感や人の役に立ちたいと思う気持ちを持つ子どもの割合が全国トップクラスであることがわかりました。予測が難しく変化の激しいこれからの社会において、これらの資質は、

子どもの将来や人生にとっても重要なものです。県は、25人学級をはじめとした少人数教育で、山梨の子どもが持つトツプクラスの資質をさらに伸ばすとともに、学校を、それぞれの子どもが個性や能力を最大限発揮し、夢の実現に向けて準備をする場所とするため、全力で取り組んでいます。

「山梨の子どもの長所を伸ばす

目を輝かせて工作に取り組む子どもたち。昭和町立西条小学校2年4組の教室では、児童が先生と楽しそうに学んでいました。県は今年度、25人学級を小学2年生に拡大しました。現在、25人学級の実施効果を検証するとともに、3年生以降への少人数学級導入を検討しています。

25人学級を2年生に拡大 子どもの個性や将来の可能性を伸ばす

2年目を迎えた25人学級

県はこれまで、全ての学年で国の基準よりも少ない人数とする県独自の学級編制基準を定めるなどとして、少人数教育を推進してきました。

昨年度には、一人一人の子どもに対応したきめ細かく質の高い教育を

個性や能力を伸ばし豊かな人間性と可能性を育みたい



昭和町立西条小学校
2学年担任

保坂 直行さん

担任としては、困ったときに声を掛け合ったり、掃除や係の仕事を協力しながら進めたりする優しい姿を見ることが増えていて、うれしく感じています。25人学級は一人一人が活躍できる機会が多く、また互いの良さに自然に気づくことができるなど、子どもの満足感や達成感、やる気につながっています。

多様な価値観との出会いという点では多人数が良いという考え方もありますが、少ないからこそ関係を深



一人一人に寄り添う時間が増えたという

実現するため、全国に先駆けて25人学級を公立小学校の1年生へ導入しました。今年度はこれを小学校2年生にも拡大し、現在は38校がこの制度を活用しています。

導入効果があった！ 届いた「現場からの声」

められる時間がとれ、いろいろな考え方に触れて気づきを得ることができ、25人学級は、私はプラスだと捉えています。

また、人数が減ったことで日々の事務処理の時間が短くなり、授業の準備や連絡帳の返事を書く時間、子どもと過ごす時間が増えるなど、時間をかけたいと思うことに十分使えるようになりました。

8月下旬に開催された少人数教育推進検討委員会では、昨年度25人学級が導入された学校に実施した調査の結果が報告されました。「一人一人の学習状況が把握でき、きめ細かい指導ができた」「発言の機会や話し合いの時間を増やすことができた」「児童同士で会話する機会が増え、互い

子どもは起きている時間のほとんどを学校で過ごします。家庭のように安心して居場所であり、自己肯定感を養える25人学級は、子どもが将来安心して広い世界に飛び出していくための成長につながるものだと思います。

一人一人に寄り添って もらえていると感じます



昭和町立西条小学校
2学年PTA学年委員長

谷口 真季さん

25人学級は、子どもが自分に自信を持てるなど、自己肯定感につながっていると思います。うちの子も学校が楽しいと言って、毎日先生やお友達の話をしてくれます。それだ

の良さを認め合えるようになった」などの声が多く集まり、25人学級導入の効果を実感している様子が見えられました。

検討委員会では今後も議論を重ね、小学3年生以降への導入を検討し、今年中に方向性をまとめることとしています。

けふれあいの時間が長いのだと感じます。授業参観では、先生が一人一人の様子をよく見ながら授業を進めてくださっていて、みんなが「できた！」「わかった！」と喜んでいる姿を見ることができました。

また、これまで大きな不安を感じることなく学校に通えているのは、先生が保護者にきめ細かく対応してくださることも大きいです。不安に感じることを連絡帳に書くこと丁寧なお返事をくださいますし、学級だよりの内容も充実していて、子どもの学校生活の様子がよくわかります。私は県外出身で知り合いがいなかったのが当初は不安でしたが、保護者同士のつながりも作りやすく安心できました。

学年が上がると、これまでとは違った悩みや不安が出てくると思うので、3年生以降にも少人数学級を導入していただけたらうれしいです。